

■大洲市民文化会館整備基本計画（素案）パブリックコメントの結果

大洲市民文化会館整備基本計画（素案）パブリックコメント（令和3年11月23日～令和3年12月24日）を実施したところ、1名の方から10件の意見が提出されましたので、意見の概要及び意見に対する本市の考えを公表します。

No.	項目	意見の概要	対応（回答）
1	建物の設計に関すること	耐震性を確保しつつも、あまり閉じた空間にならないよう、ガラスなどを多用したオープンな施設を望む。	ご意見の通り、閉じた空間とならないように配慮していくことが重要と認識しています。 ガラス等の多用については、空調負荷も懸念されることから、省エネルギーも考慮しながら具体的な詳細については設計段階で検討します。
2	建物の設計に関すること	完成後の維持管理・大規模改修等のライフサイクルコストを考慮した設計を望む。	ご意見の通り、イニシャルコスト（整備費）だけではなく、竣工後のランニングコスト（運営、維持管理費）、ライフサイクルコスト（整備から廃止までの総費用）も見据え、省エネルギー、長寿命化等に取り組みます。具体的には設計段階にて検討します。
3	建物の設計に関すること	本市と隈研吾氏との縁を活かして、東京大学生等による設計コンペの実施を検討してほしい。	設計者選定においては、決められたテーマに対する提案をもとに設計者を選定する「プロポーザル方式」を想定しています。プロポーザルの詳細については来年度検討します。
4	施設内に関すること	一部の楽屋の中にトイレ・シャワーの設置を望む。	一部の楽屋についてはトイレ・シャワーの設置を想定しています。
5	施設内に関すること	子どもたちに本物の文化芸術に触れさせるためには、少しでも興行的に採算が合うように、出来るだけ大きいホールが必要ではないかと考える。必要に応じ、メインホール（778席まで）とサブホール（200席程度）を一体利用できるような施設の検討を望む。	子どもたちに質の高い文化芸術に触れる機会を充実させ、それを継続するためには、興行主の都合によって開催有無や内容が左右される貸館での催しに依存せず、市（会館）が主催者として予算を確保して計画的に企画・招聘する「自主事業」を充実させ、継続させることが肝要です。このとき、必ずしも客席数の大小によって実現可否が左右されるものではありません。 また、メインホールとサブホールをつなげられる設計とすることは不可能ではありませんが、使い勝手、遮音性能等に制約が生じたり、イニシャルコストやランニングコストが増大したりする可能性があります。本市の基本計画においても、文化芸術の創造と発展を促進し、子どもたちが本物の文化芸術に触れる環境を整えることを基本目標としていることから、メインホールとサブホールはそれぞれの特性を活かした整備を進めますが、メインホールの公演をサブホールに中継する等の方策については、設計段階で検討します。
6	外観・屋外に関すること	大洲市総合計画後期基本計画策定のために、令和3年7月に実施したアンケート調査では、「子どもの遊び場」についての評価が低い結果であった。隣の総合福祉センター内に設置している「子育て世代包括支援センター」との相乗効果も期待できることから、車の往来の心配がいない屋上にデッキテラスを設け、遊具やベンチなどを設置し、親子が安心して過ごせるスペースを望む。	屋上に人が入る機能を設けられるかどうか、また屋上に限らず親子のためのスペースの確保については、来年度以降継続して検討します。

No.	項目	意見の概要	対応（回答）
7	外観・屋外に関すること	駐車場を半地下とし、大雨の際に一時的に雨水をためることのできる施設の検討を望む。併せて、国が進める国土強靱化や流域治水に関する補助金活用の検討を望む。	本市においては、現在、「大洲市内水対策計画」を策定中であり、これに基づき、今後、ハード対策及びソフト対策の両面から計画的に内水対策が進められていくものと考えております。 本施設においては、雨水をトイレ用水等に活用するなど、環境に優しい施設整備を検討していきます。
8	外観・屋外に関すること	現在、考えられている飛び地の駐車場では使い勝手も悪いため、そちらの代わりに候補地と国道56号の間の民地を取得し、角地に開けた広々としたアプローチと駐車場を確保することを望む。	用地取得に係る費用や整備スケジュール等の課題があることから、候補地と国道56号の間にある民地の取得は考えておりません。
9	その他利用等に関すること	前述の市民アンケートでは、「娯楽やレジャー環境」に対する評価が低い結果であった。映画上映やスポーツ・ライブのパブリックビューイングなどに耐えうる高性能な映像・音響設備の設置を望む。	映画館やライブ会場と全く同じということではありませんが、多用途に高水準に対応する映像、音響設備を整備する予定ですので、試写会や映画会、パブリックビューイングにご利用いただくことは可能と考えます。 具体的な機器構成については設計段階で検討します。
10	その他利用等に関すること	健康寿命延伸の取組の一つとして、高齢者や働く世代が軽運動ができるような（ランニングマシンやエアロバイクなどを完備した）スタジオの設置を望む。	スタジオの用途については、基本計画に記載のとおりです。ランニングマシン等の設置は予定していませんが、総合体育館や総合福祉センターとの機能分担を図りながら、市民にとって健康寿命延伸につながるような取り組み等を検討していきます。